

疑義照会の結果、分量変更となった 医薬品および疑義照会の理由

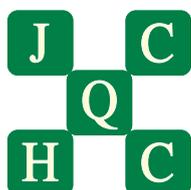
ヒヤリ・ハット事例のうち、疑義照会に関する事例が656件報告されています。

(集計期間：2010年1月1日～2010年12月31日)

このうち、変更内容が「分量変更」であった事例104件について、「作用部位、成分」と「疑義があると判断した理由」の状況は下表の通りです。

作用部位、成分	疑義があると判断した理由	当該処方せんのみで判断	当該処方せんと薬局で管理している情報で判断	それ以外で判断	計
抗生物質製剤		10	8	0	18
アレルギー用薬		12	3	0	15
中枢神経系用薬		8	3	2	13
呼吸器用薬		8	3	0	11
消化器用薬		7	1	0	8
その他の代謝性医薬品		4	3	0	7
化学療法剤		4	2	1	7
末梢神経系用薬		5	0	0	5
ホルモン剤(抗ホルモン剤を含む。)		3	2	0	5
循環器用薬		1	2	1	4
血液・体液用薬		0	1	3	4
腫瘍用薬		0	2	0	2
泌尿生殖器官及び肛門用薬		0	0	1	1
その他の個々の器官系用医薬品		1	0	0	1
滋養強壮薬		0	0	1	1
寄生動物用薬		1	0	0	1
アルカロイド系麻薬(天然麻薬)		0	1	0	1
合計		64	31	9	104

※薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業「平成22年年報」P170-173図表5-4を改変



公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部
薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業

〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-4-17 東洋ビル

電話：03-5217-0281(直通) F A X：03-5217-0253(直通)

<http://www.yakkyoku-hiyari.jcqh.or.jp/>